

YSR3022

YSR3022は、溶液型のシリコーン離型剤です。触媒と混合することにより、短時間の加熱で硬化し、ゴム状の離型皮膜を形成します。また、目的に応じて密着向上剤を併用します。

特長

- 短時間の熱処理で、離型性のある皮膜を形成します。
- 離型効果の持続性に優れています。
- 離型剤の移行がありません。
- 縮合反応型です。

用途

- ウェザーストリップのようなゴム成形品の離型、潤滑処理
- 繊維、プラスチックフィルム、紙などの離型、潤滑処理

一般特性

項目	YSR3022	YC6831	YC6843	XC9603	YC6919
外観	無色透明	淡黄色透明	淡黄色透明	淡黄色透明	黄色透明
粘度 (25°C) Pa·s{P}	15{150}	-	-	-	-
比重 (25°C)	0.90	0.99	1.07	0.83	0.82
有効成分 %	30	37.5	62.5	30	20
不揮発分 %	30(150°C、1h)	27(105°C、3h)	35(105°C、3h)	14(105°C、2h)	8(150°C、1h)
溶剤	トルエン、MEK	トルエン	トルエン	IPA	IPA
備考	基材	触媒		密着向上剤	

使用方法

YSR3022の使用方法は、基材、使用目的、処理条件などによって異なりますが、一般的には以下のとおりです。

1. 触媒、密着向上剤の選択

基材の種類、使用目的、処理条件などによって下表のように使い分けをしてください。

添加剤		標準添加量*	備考
触媒	YC6831	4	一般用で硬化が速い
	YC6843	4	硬化が遅く処理液が安定、基材との密着性が良好
密着向上剤	XC9603	30~100	ゴム、金属用
	YC6919	2	繊維、紙用

注) *: YSR3022の100重量部に対する重量部数

2. 処理液の調整

YSR3022をトルエン、キシレン、ミネラルスピリットなどで所定の濃度に希釈します。処理液の濃度は3～7%が一般的です。希釈されたYR3022に、目的に応じた触媒、密着性向上剤を配合します。

3. 処理方法

ロールコーティング、スプレーコーティングなどの方法が可能です。

4. 硬化

風乾後、短時間の加熱処理で硬化皮膜が得られます。なお、室温では6～7時間で硬化します。

硬化条件の一例

基材	触媒	密着向上剤	加熱条件
繊維	YC6831 : 4重量部	YC6919 : 2重量部	150°C、1min
	YC6843 : 4重量部	-	150°C、1min
ゴム	YC6831 : 4重量部	XC9603 : 30～100重量部	120°C、1min
金属	YC6831 : 4重量部	XC9603 : 30～100重量部	180°C、30s

注) 触媒、密着向上剤の添加量は、YR3022の100重量部に対して。

特許状況

本書のいかなる内容についても、関連特許が存在しないことを暗示したものと解釈してはならず、またいかなる特許についても、その権利者による許可なく、その特許が対象とする発明を実施するための許可、誘因または推奨を構成するものと解釈してはなりません。

製品の安全性、取り扱いおよび保管

製品の安全情報、安全な取扱手順、個人用保護具(必要な場合)、緊急サービスの連絡先情報、および安全な保管に必要な条件については、最新の安全データシート (SDS) および製品ラベルで確認してください。SDS は www.momentive.com で入手するか、あるいは MPM の担当者にご依頼ください。他の素材を MPM 製品(例:プライマー)と合わせて使用する際は、追加的な注意が必要になる場合があります。他の素材の製造者による安全情報を読み、それに従ってください。

制限

お客様はモメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ製品を評価し、特定の用途に対する使用適合性をご自身で判断する必要があります。

お問い合わせ窓口

本製品に関するお問い合わせは下記までお願いします。
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社
インサイドセールス:Sales-JP.Silicones@momentive.com

免責条項

モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズならびにその子会社および関係会社(以下、総称して「サプライヤー」といいます)の素材、製品およびサービスは、サプライヤーの標準販売条件に基づき販売されています。この標準販売条件は、該当する販売代理店契約または販売契約に含まれており、注文確認書や請求書の裏面に印刷され、また要求に応じて提供可能です。本書に記載の情報、推奨、または提言は、誠意をもって提供されていますが、サプライヤーは明示的にも黙示的にも、(i) 本書に記載の結果が最終使用条件下でも得られること、および(ii) 製品、素材、サービス、推奨または提言に取り入れられている設計の有効性もしくは安全性について、いかなる保証もいたしません。サプライヤーの標準販売条件に定めのあるものを除き、サプライヤーおよびその代理人は、本書に記載の素材、製品またはサービスの使用によって生じたいかなる損害に対しても責任を負わないものとします。サプライヤーの素材、サービス、推奨、または提言が、ユーザー自身の特定の使用目的に適しているか否かの判断については、各ユーザー自身が全面的に責任を負います。各ユーザーは、すべてのテストや分析を特定および実施して、サプライヤーの製品、素材、またはサービスが組み込まれている最終製品が安全であり、最終使用条件における使用に適していることを確認する必要があります。サプライヤーの署名入りの書面による合意がない限り、本書もしくはその他の文書または口頭による推奨または提言は、サプライヤーの標準販売条件の規定または本免責条項の変更、修正、優先、または権利放棄とはみなされないものとします。本書に含まれる素材、製品、サービスまたは設計の使用可能性または使用提案に関するいかなる記載も、当該使用または設計を対象とするサプライヤーの特許その他の知的財産権に基づくライセンスを付与することを意図してはならず、あるいはライセンスの付与と解釈してはならず、また、何らかの特許その他の知的財産権を侵害する素材、製品、サービスまたは設計の使用の提案を意図してはならず、また使用提案として解釈してはなりません。

発行:2000年10月/改訂2023年11月/YSR3022